学校番号	3009

令和８年度　工業科（建築系）

教科	工業科（建築系）	科目	課題研究	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	テーマ班ごとに内容に合わせて学校で作成						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

課題研究は､学んできた様々な建築系専門知識を実践し高度な技術に取組みます｡設計系コース(計画系・造形系・パース系）と施工系コース（木工系・材料系・研究系）に班分けをし、生徒主体で各班のテーマと完成に向けての目標を決定します。
技術の成り立ちを深く考察し、計画、実施、検証した中から各自が問題点や課題を見つけ、改善・改良をして知識・技術の向上を図りましょう。また、その考察した経過及び最終成果を課題研究発表会でプレゼンし能力を養いましょう。

2　学習の到達目標

生徒自らが、これまでの学習により身に付けてきた知識や技術を活用し、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的・創造的な学習態度を育成する。
また､成果発表会に向けて､考察の経過や目標に向けての取組みについて主体的に表現する能力を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	各コース（計画系・造形系・パース系・木工系・材料系・研究系）ごとに関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、その知識と技術を合理的で適切に活用する能力を身に付けている。	各コース（計画系・造形系・パース系・木工系・材料系・研究系）ごとの基礎的・基本的な知識と技術を基に、設計者や施工管理者といった建築技術者として、適切に判断し表現する能力を身に付けている。	各コース（計画系・造形系・パース系・木工系・材料系・研究系）ごとに関する課題について関心をもち､その改善･向上をめざして主体的に取組み､実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
年間（前期・後期）	単元の分けなし(各パートでの課題内容)	1．オリエンテーション テーマの説明と班分け 2．計画 年間スケジュール作成 3．研究作業 設計コース 計画系 造形系 パース系 施工コース 木工系 材料系 研究系　等の作業 4．検証 改善及び改良 目標達成度の確認 5．課題研究発表会 資料作成と発表準備	a：各コース（計画系・造形系・パース系・木工系・材料系・研究系）ごとのテーマに関する基礎知識を身に付け、合理的に計画し、技術を適切に活用している。 b:設計・施工系の基礎知識を基に、自ら考え、適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。 c:各コース（計画系・造形系・パース系・木工系・材料系・研究系）ごとのテーマに関する課題について関心をもち、改善・向上をめざし主体的に取り組む態度を身に付けている。	学習状況観察 各時間の報告書作成内容 発表用資料の作成内容	学習状況観察 課題及び作品の考察内容 発表用資料の考察内容	授業参加状況 提出課題及び作品の進捗状況 発表用資料の進歩状況

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度